

厳しいが最高

経済学部経済学科 山本昇汰
(報徳学園高等学校出身)

1. 大学入学前はどのように過ごしていましたか？

弓道部に所属し、部内では良好な結果を残すことはできていた一方で、公式大会などでは緊張のあまりミスを連発し結果を残すことが出来ませんでした。勉強面では、努力の仕方がわからず鳴かず飛ばずの成績で悩んでいました。振り返ってみると、努力の量が足りないことにくわえ、その方向性にも問題があったように感じます。

2. 上級キャリアコースに入ったきっかけ・理由は？

大学入学直後のコース説明会で、コースを率いる大谷先生の情熱的かつ論理的な説明を聞き、とても前向きな気持ちになれたことを昨日のことのよう覚えています。不甲斐ない自身を変えることのできるラストチャンスであると感じ、参加を決意しました。

3. 上級キャリアコースは厳しいのか？

厳しい面はあると思います。普段の礼儀・マナー・規律はもちろんのこと学問的にも要求されるレベルが高いため、常に努力が求められます。例えば、「一度注意されたことは二度と繰り返してはならない」とよく注意されるのですが、しっかりとその意味を理解する必要があります。文字通りの意味があるのはもちろんです。しかし、以下のような意味も含まれます。例えば、あなたの学友が何らかのミスで注意されたとします。その後、あなたが同じミスをやったとしましょう。この場合、ミスを繰り返していると判断されます。空気を読んで相手の意図を正確にくみ取った上での行動が常に求められます。

4. 上級キャリアコースで活躍するタイプは？向いていないタイプは？

前者ですが、物事の本質を捉えそれを端的に説明できる人だと思います。本質的でない議論に時間をかけることは、生産的ではないためです。上級キャリアコース(以下、上キャリ)で“エース級”と呼ばれる学生はこの種の能力・資質に秀でています。

後者ですが、努力を継続できない人です。上キャリで生き残るためには、このHPに書いてあることをしっかりと理解し実行することはもちろんのこと、それを4年間継続しなければなりません。できないのなら、上キャリに参加すべきではありません。

5. 上級キャリアコースの強みは？

高い志を持ったメンバーと一丸となり、学業や就活という目標に向かって邁進できることです。上キャリの厳しさは上で述べたとおりですが、結果としてコース内には意識が高く行動力に富んだメンバーだけが所属することになります。そしてこのことが、メンバーの多

く(全員?)が指摘するように、大学生活を非常に有意義なものにするのです。コースでの4年間は本当にハードでした。でも、彼らと一緒にだったからこそやり遂げることができたのです。つらい時もたくさんありましたが、お互いに助け合い、励ましあいながら困難に打ち克つことができました。つまり、本当の意味で切磋琢磨することができました。素敵な仲間と出会える場、それが上キャリです。

3. 大谷や松本先生ってどんな先生

大谷先生、松本先生どちらも学生に対し親身に尽くしてくれる先生です。

4. 上キャリは厳しいのか？厳しいとすれば何がどう厳しいのか？

厳しい面はあると思います。求められるレベルが高い為、日頃からの努力が求められます。

5. 上キャリで活躍するタイプは？ or 求められる能力・資質は？

しっかりと内容を理解し自分の言葉に落とし込む力や、それを周りに伝える力が必要だと考えます。

6. 上キャリが向いていないタイプは？

努力をし続けることが出来ない人です。理由として、上キャリのメンバーは皆やる気や目標を持ち所属する者であり、学生間でモチベーションのずれがあると結果にも差が出てしまうためです。

7. 上キャリの強みは？

4年間の大学生活の中で、常に自分を刺激する仲間が出来ることです。やはり4年間の中で勉学に対してモチベーションが下がってしまうことはあると思います。そんな時に意識の高い仲間や先生と関わることで、気を引き締めなおすことが出来るためです。

8. 上キャリで辛かった・しんどかったことは？

私は勉学で特段良好な結果を残せたわけではなかったもので、周囲が結果を残しているタイミングで自分が結果を出せなかったのがつらいと感じました。

9. 上キャリで楽しかったことは？

メンバーと共に勉学や遊びに打ち込んだ時間です。

10. なぜ大学で急に学業的 or 人間的に成長できたのか？なぜ高校まではいまいちだったのか？

将来をしっかりと考える機会を頂き、それに準じる形でしっかりとどうなりたいかを考え、そのために必要な行動をとったためだと考えます。

11. 上キャリの講義・活動の中で、企業目線を意識して実施されていると思ったものはあったか。あったすれば、それは何であり、なぜそう思うのか？

学生間での議論の時間です。議論を行いグループワークで必要な、主体性、コミュニケーション能力そして論理的思考力といった力が向上し、就職活動ではこれらの力を非常に高く評価して頂きました。

12. 産近甲龍などの上位校に合格できていたとして、今以上の成果を実現できたと思うか。できたと思わない場合は、なぜそういえるのか？

思わないとは言いきれませんが、モチベーションの維持が上位校では難しいのではないかと思います。

13. 上キャリへの入学者を増やすために、高校生や新入生にアピールすべきことは何か？

就職活動でも役に立つ能力を高められること。

14. その他いいことがあればご自由に。